



題字は、校歌（玄関掲額）より

令和5年 1月30日（月）

### それぞれの未来予想図に向かつて

先日（十七〜十九日）、二年生の職場体験を実施しました。巷間、コロナやインフルエンザによる学級閉鎖の報が聞かれる中、三日間の体験を終えることができ、感謝しております。

二十四か所のそれぞれの事業所において、今までにない経験をたくさんしたことと思います。その一つ一つを忘れぬ思い出として、また、自分なりの「未来予想図」を描く手がかりとしてほしいと思います。

各体験先の皆様方からは、本校生は意欲的で誠実・明朗であると高く評価され、励ましやお褒めの言葉をたくさんいただきました。温かく見守っていただき心より御礼申し上げます。

【ご協力いただいた事業所様（順不同・敬称略）】

おばたレディースクリニク、犬の広場シルバースワロ  
一笹川店、エディオン四日市日永店、BOOKOFF SUPER  
BAZAR 一号四日市日永、TSUTAYA笹川店、スポー  
ツデポ 四日市日永店、ミスタードーナツ日永カヨーショ  
ップ、513ペーカリー笹川通り店、プチヒロタ、荻野町  
図書館、かぶせちやカフェ、音の和カフェ、アクトス、ト  
ヨタカローラ三重、ふれあい牧場、ウエルシア波木店、ル  
シード、しつけ美容室いぬ屋、シティホテル、南消防署、  
水沢保育園、くまだ保育園、水沢小学校、小山田小学校

### 自ら問い追究する学び 学校日誌 (1/23) から

二年生国語では、文法の勉強で「話す」は連体形か終止形なのか考えていました。「どっちなのか」「なぜそうなのか」と考え、文脈で活用の種類が見分けられることに気づいていききました。自ら問い追究する姿が垣間見られ、微笑ましく感じました。

三年生数学は、高校入試の過去問題に挑戦していました。出題傾向や難易度を知り、ペーパー配分を考えることも大切だと思います。本番までの時間は限られてきましたが、やるだけやったという思いは当日の心の支えになることを願っています。

一年生は理科で「力のつり合い」を学んでいます。後半、確かにつり合っているといえる例をネットで検索しました。面白い例がたくさん見つかったようで、「力」や「つりあう」という目では見えないものや状態のイメージが共有されていきました。

「追究」とは、「尋ねきわめること（広辞苑）」を意味します。なくてはならない重要な過程ですが、定期テストや入試に向けてたくさん知識を整理する時間も必要で、ともすれば、じっくりと考えたり、調べたりする時間が足らなくなることも、なくはないと思います。

最近の入試問題を見ると、一問一答式や単純な選択問題以外に、全国学調にあるような、資料をもとに一定の条件で自分の考えを記述したりする問題が見られます。激変する

社会に伴って、入試問題も「受動的なタイプ」から知識を基盤に自らの考えを個性や感性を活かして表現する「出力タイプ」に変わってきているのではないかと考えられます。

そういう学力は、①「問い」を持てる仕掛けが工夫され、②「問い」と「答え」の間の「追究」が充実し、③生徒が「葛藤」する授業の中で、育まれていくのではないかと感じています。

### 「学校自己評価」の結果分析を通じて

前回、「速報値」をお示しさせていただきましたが、現在、「調査結果の分析と今後の方針」をまとめ終え、来月三日開催予定のコミュニティスクール運営委員会にてご意見をいただく準備を進めているところです。

そのような中、生徒のアンケート結果に改めて目を向けると、「学校生活は楽しく充実していますか？」という問いかけに対する肯定的回答の割合は、毎年百％に近いとはいえ、一人残らずではありません。この現実を厳粛に受け止めなければならないと思います。

われわれ教職員は、今後も、多様性を尊重して他者と協働する生徒の育成をめざし、いじめやトラブルを見逃さず、きめ細かな指導を続けてまいりたいと思います。

また、体罰や不適切な指導の撲滅に向けての研修を定期的に実施し、教職員の無自覚な威圧・差別・偏見・生徒の心を傷つける言動がないよう、引き続き、取組を進めていきたいと考えています。

